

# 第7回議会報告会 報告書



開催日  
開催会場

10月22日	川尻会館
10月23日	北区自彊館
10月24日	片岡会館
10月25日	住吉会館

吉田町議会

# 目次

	ページ
1 報告内容	2
2 アンケート結果	2
3 各会場の概要	3
4 意見交換記録の抜粋	
(1) 防災関連	4
(2) 教育関連	6
(3) 保育関連	8
(4) 交通安全・通学路関連	9
(5) 予算・決算関連	10
(6) 榛原総合病院関連	10
(7) その他	11
5 町民意見の活用	12

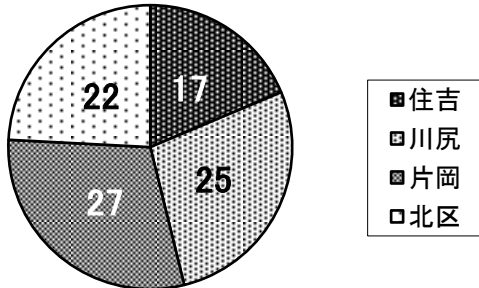
## 1 報告内容

- (1) 平成24年度決算について
- (2) 平成25年度一般会計補正予算（第2号）について
- (3) 吉田町教育環境整備について

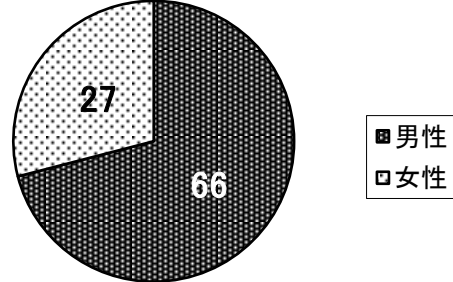
## 2 アンケート結果

議会報告会各会場で皆さんからいただいたアンケートの集計結果を以下に示す。

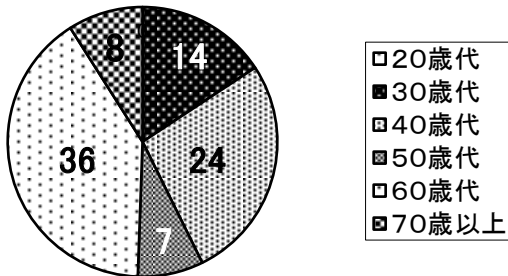
### 地区別参加人数



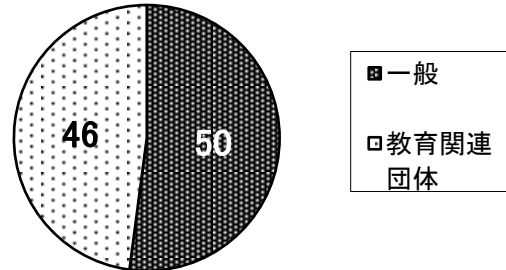
### 男女別参加人数



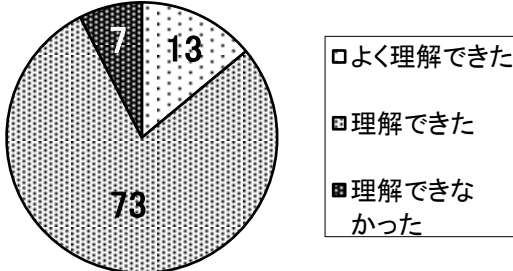
### 年代別参加人数



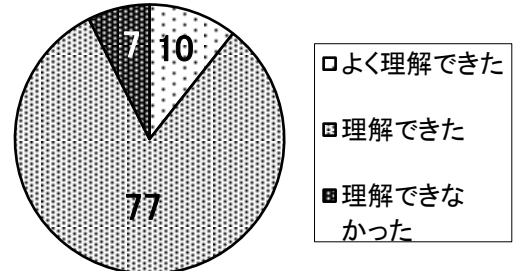
### 教育関連団体比率



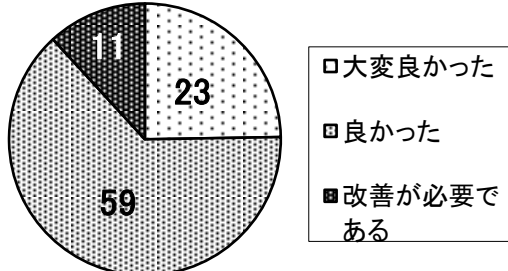
### 決算報告理解度



### 教育環境整備報告理解度



### 方式に対する感想



グラフ中の数字の単位 : 人

### 3 各会場の概要

#### (1) 住吉会場（住吉会館）

区分	住所別				男女別		年代別				
	住吉	川尻	片岡	北区	男	女	30	40	50	60	70↑
参加人数	17	1	0	0	14	7	3	7	0	10	0

（意見・要望の特徴）

防災訓練を通しての津波避難タワーに関する意見や交通事故防止に関する意見が全4グループから出た。また、榛原総合病院に関する質問や意見が4グループ中2グループで出た。教育施設関連では、中学校に設置したエアコンの温度管理や小学校へのエアコン導入に関する要望があった。

#### (2) 川尻会場（川尻会館）

区分	住所別				男女別		年代別				
	住吉	川尻	片岡	北区	男	女	30	40	50	60	70↑
参加人数	0	23	2	0	20	5	5	2	4	11	2

（意見・要望の特徴）

津波避難や避難路に関する意見・要望が多く出た。また、榛原総合病院に関する質問や意見が4グループ中3グループで出た。教育施設関連では、すみれ保育園の跡地利用や新しいすみれ保育園でのこども発達支援事業に関する質問および中央小学校の耐震化に関する質問が多く出た。

#### (3) 片岡会場（片岡会館）

区分	住所別				男女別		年代別				
	住吉	川尻	片岡	北区	男	女	30	40	50	60	70↑
参加人数	0	1	25	0	17	8	3	8	1	8	4

（意見・要望の特徴）

予算・決算内容および財政健全化率に関する質問が多かった。ゲリラ豪雨に関する要望も出た。教育関連施設では、中央小学校の建て替えに関する質問や通学道路に関してグリーンベルトなど安全性強化に関する要望が出た。また、ちいさな理科館に関する要望も4グループ中2グループから出た。

#### (4) 北区会場（北区自彊館）

区分	住所別				男女別		年代別				
	住吉	川尻	片岡	北区	男	女	30	40	50	60	70↑
参加人数	0	0	0	22	15	7	3	7	2	7	2

（意見・要望の特徴）

決算収支や財政健全化比率に関する質問が多く出た。北区防災公園に関する質問や要望も多かった。また、津波対策だけでなく、土砂崩れなどの対策にも力を入れてほしいとの要望も出た。教育関連施設では、通級指導教室やこども発達支援に関する質問が出た。また、保育園の施設利用や卒園アルバムの復活に関する要望も出た。

#### 4 意見交換記録の抜粋

##### (1) 防災関連

問 これまで**津波避難タワーの価格**がたびたび上昇している。国からのひも付き補助金なのか。

答 当初は、近隣市の避難タワーをベースに算出し1基1.5億の予算であったが、タワーの標準仕様設計基準が出来上がり、最大積載荷重が3.5倍になり、積算を行ったところ予定価格が上昇し約3.2億円平均となった。その金額で15基分の予算を取ったが、更なる詳細積算を行うと予算が不足したため、最後の6基を部分発注契約した。そして、9月補正予算で不足分7億5千万円を財源措置した。10月16日に6基の残った部分を随意契約して、総額57億5千万円余の設置工事費となった。

問 57億円で、15基の**津波避難タワー**を設置するのに、町の負担はいくらか。

答 国土交通省の社会資本整備事業で行っているので補助対象事業である。総事業費の半分は補助金が入る。残りを起債するが、後年度において交付税措置を受けると聞いている。また、国の24年度補正予算に対応して事業化したので、吉田町には地域の臨時交付金として16億円弱が措置され、その一部を用いると町の負担は、総工事費の約1割となる予定である。

問 **津波避難タワーの工事費**の基礎部分と上物部分との比率はどのくらいか？

答 工事費のうち、基礎部分が35%、上物部分が65%を占めている。

問 津波防災に関して、吉田町はハード面には力を入れているが、ソフト面が整っていない。防災課と自主防災会の関係が希薄である。**地域防災計画**にしても、東日本大震災があったのに変わっていない。どうなっているのか。

答 26年3月末を目標に「吉田町地域防災計画」の全面改訂を行う。

問 立派な津波避難タワーが15基できるが、**小規模なタワー**で良いので増やしてほしい。津波に向かって逃げられないし、とても時間内に避難できる自信が無い。

答 町は、避難街区を設定して人数や避難時間をシュミレーションして建設したので、避難ビル等を併用する形で利用していただきたい。今後、施設を利用した避難訓練を行い実情に合った避難を各自で検討していただき、課題などがあれば、自主防災会を通じて町に挙げてほしい。

問 **G街区津波避難タワーの位置**が、片寄っていないか。

答 建設用地を安価でしかも迅速に決定できる箇所を、地元町内会や自治会と相談して決定した。また、レックの倉庫屋上が、避難ビルとして指定しており、近隣の方は利用して頂く。吉田公園内にも県が命山を造成する予定であり、今後利用できるなどを考慮している。

問 防災訓練で**津波避難タワー**を利用したが、**お年寄りや足腰の弱い方達**は、階段を登れないので、下で待機していた。スロープなどの対応策は。

答 各地での説明会でも、同じような意見が町に出ていた。それに対する回答は、近くにいる人たちが協力して、大勢で担いで登っていただきたいとのことであった。共助で対応してほしい。

問 **上れない方**のために、自主防災会で中学生に協力していただき、階段下に待機して要請を待っていたが、誰一人利用しなかった。実際に起きたとき大丈夫か心配である。町から住民に声掛けを行い、もっと指導し



住吉会館

てもらいたい。

問 今後、自主防災会を中心に津波避難タワーを利用した避難訓練を、繰り返し実施していただき、体制整備を作り上げていただきたい。近隣市では、リヤカーを使って要援護者の避難訓練を行っているところもあるので、議会としても先進的な取組を行っているところを調査して報告する。

問 津波避難時、**自動車での避難**に対して町はどう考えているのか。

答 町の避難の基本は徒歩である。自転車に関しては許容としている。

問 **避難路の整備**は。

答 町はまず避難訓練で各々の避難路を確認することを考えている。

問 **設置後の維持費**はどうなるのか。

答 議会でも、ランニングコストについて、様々な角度から確認し、問題が無いとの回答を得ている。特に塗装等のメンテナンスは、50年必要ないと聞いている。

問 津波避難タワーで命が助かって、津波で家屋敷が流されると思うと憂鬱になる。都司先生が、30数年以内には地震が来る確率が高いと言っていた。**次の対策**が、決まっているか。

答 津波避難タワー設置は、津波防災まちづくりの始まりと位置付けており、かねてから広報している通り、防潮堤のかさ上げ、大井川堤防のかさ上げ、坂口谷川の水門設置へ向けて、国県へ働きかけている。

問 **北区の避難場所**として、自彊小学校グラウンドがあるが、ほかにあるのか。

答 計画中の富士見幹線沿いに北区防災公園。大井神社前にコミュニティ広場ができるようになる。予算がつき、今進んでいる。

問 **北区の防災公園**はいつ出来るのか、またどのような公園か？

答 27年度には完成させる計画で進めていると聞いている。富士見幹線の完成も同時で、災害があった時の仮設住宅の用地にもなる。いま土地取得を進めていて、今後、建設委員会で検討していくと聞いている。

問 大井神社前の公園は防災公園ではないのか、完成はいつになるのか。

答 コミュニティ公園で防災公園ではない。完成は26年度末になる。

問 **防災公園**についての町との協議会がまだ1回しか開かれていない。住民の声を聞くはずでは。

答 現在、用地買収の最中で、その後行われるのではないかと思うが、議会としても町民の声をしっかり聞くように要望していく。

問 広域避難地として学校が指定されているが、**飲料水や非常食、毛布などの備蓄**は大丈夫か。

答 体育館や空き教室などに、非常食・簡易トイレ・毛布などを備蓄してある。しかし、被災された多くの方が集中することなどから、数に限りがあるので各自で非常備蓄は行ってほしい。飲料水は1人1日3リットルと非常食品を、1週間分は必要である。

問 伊豆大島や京都など、最近の豪雨災害を目のあたりにして、片岡を流れる**湯日谷川**が心配である。上流に静岡空港が出来て、影響はどうか。

答 空港周辺に7か所の調整池を配置してあり、現在のところ問題なく機能している。

問 周辺が宅地開発され、**ゲリラ豪雨や集中豪雨**による降雨に対応できるか心配だ。

答 現在のところ、時間雨量30ミリを想定し対応している。4月6日の豪雨の時は、時間雨量66ミリを記録し、町内各所で浸水被害が発生した。対策として河川の浚渫や仮設ポンプと発電機を準備するなどを図っている。しかし、東西への排水下水が千分の1勾配で、排水能力が弱い現状である。

- 要望 : 川尻会館の屋上が津波避難所となっているが、要援護者を背負って上るには狭すぎる。補助階段を作してほしい。
- 意見 : 避難タワーの建設が完成した後、町民がどのように利用したり、夜中などにどう避難するのかなどの対策や避難路の計画が見えてこない、避難計画を早く示してほしい。
- 意見 : 避難タワーの建設は全国でトップだが、安全のために防潮堤のかさ上げを思い切って進めてほしい。
- 意見 : 町は津波対策しかやっていない。北区の向原など土砂崩れの心配のある所の対策もお願いしたい。

## (2) 教育関連

- 問 **中央小学校の建て替えや、グラウンドの拡張**のことはどうなっている。
- 答 今年度は、小学校北側の道路整備をする。グラウンド拡張用地は確保しており、現在のグラウンドも変形しており、校舎とグラウンドの全体的な計画の中でいく考えである。東日本大震災後に、町は津波防災町づくりに重点が置かれ、計画が先送りになっている。実施時期は未定である。

- 問 **中央小のトイレの改修**はどのような経緯で。
- 答 排水管やトイレの臭いがくさいということで改修することになった。

- 問 **通級指導教室**はどのようなものか。
- 答 はじめに説明したように、小学生で普通教室に通う子で学習障害や注意欠陥多動性障害など発達障害が見られる子が支援を受けられる。

- 問 **小学校教室の空調整備**は。
- 答 中学校の後、順次、小学校も進めていくとは聞いているが、時期に関しては明確にされていない。町からは、予算確定まで、時期をむやみには語れないと聞いている。

- 問 **放課後児童クラブ**の利用対象が、3年生までである。6年生まで枠を広げてほしい。
- 答 4年生以上は、小学校の高学年でもあり、ひとりで行動し自習できるように教育を受けていることや、施設のキャパや人員配置等と現状の予算では難しいと思う。しかし、ご要望があることを教育委員会に伝え、考え方と方向性を確認し報告する。

- 問 **英語教師**について、吉中に帰国子女の教員がいて、発音が上手で評判が良いと聞いている。外国人ばかりでなく、外国滞在された経験のある方を、ネイティブスピーカーとして探してみれば良いと思う。
- 答 大変ありがたいご意見です。外国人英語教師の需要が高く、町も苦戦していると聞いているので、教育委員会事務局に提案してみる。

- 問 教育振興事業費で**外国語に関して教員の加配**の強化を求めたが、各保護者、学校から、要望が来ていないと言うが保護者やPTAから要望をあげていいのか。
- 答 PTA連絡協議会などで意見を集約して、要望をあげても良いのではないかと。

- 問 **発達障害の施設**ができることは良いことである。しかし、学習についていけなくて進級した児童生徒の学習障害にも目を向けてほしい。



片岡会館

答 中学校では、補習という形で学習支援を行っていると聞いている。実情についてと、今後の対応策などを、教育委員会に確認する。

問 **吉田高校の跡地**は特別支援学校に決まったのか。

答 県教育委員会が決めたことで、特別支援学校になる。建物の3階4階部分を何かに利用すると聞いている。

問 **吉田高校**が、広域避難地となっているが、今後利用できるか。

答 県の計画では、27年から特別支援学校として開校予定である。来年度から改修工事が始まる。詳細については、県から年度末位には説明があると思う。従来通りの利用と、地元の利活用も確認している。

問 住吉、川尻については**幼稚園**があるが北区にはない。あってもいいと思うが。

答 幼稚園は文部省、保育園は厚生労働省で所管している。国の中では認定子供園の話も出てきている。そのような中、子ども・子育て支援法の基づき吉田町にも子ども・子育て会議が設置される。この中で話が出ていけばと思う

問 **図書館の管理**を民間に委託して、開館時間の延長などのサービス向上は図れないか。

答 町の方針は、民間委託しないことである。

問 **図書館**や**ちいさな理科館**などが、祝日の開館を行っていないのは、利用者にとってがっかりする。なぜか。

答 担当課に確認して報告する。

問 **ちいさな理科館**は平日は展示だけで、質問しても担当者が居ないので返事が返ってこない。そんなことを何度か繰り返し、子どもは行かなくなった。また、実験に関しても説明不足で親が教えながら実験することになる。何とかならないのか。

答 担当課に伝える。

問 **ちいさな理科館**を利用しているが、報告の通り利用者が減っていて残念だ。どのような理由か、把握して対策しているのか。有馬先生も期待しており、もったいない。

答 講座の工夫や準備などを行うため、講座数を減らしたことを確認している。ご期待が大きいことを伝える。

問 **ちいさな理科館**の東側に東名川尻幹線ができる。**理科館の進入路**が分かりづらい。

答 看板の設置や新たな進入路を検討している。

問 少年野球を**自彊小学校グラウンド**で行っているが、ボールが校外に出ることがある。フェンスを高くすることはできないか。

答 訴え続けているが、なかなか進まないのが現状である。



川尻会館

問 **学力テスト**について、県知事と教育委員会でもめているようだが、吉田町議会ではどのような議論がされているか。

答 行政報告会で、教育委員会から検証委員会をつくり検討していくと報告があった。

問 緊急的に修繕が必要な時がある。学校に自由に使える**修繕費の予算**が必要では。1000万円ぐ



らい。

答 予算については、計画性を持って行わなければならないが、補正とか予備費の方法で対処できる。

意見 : 放課後児童クラブの申し込みや子どもの支援をたのみたいが手続が大変なので、島田市のように支援サポートなどを充実させられないか。

意見 : 今の子どもたちを見ていると、いろいろ贅沢になりすぎていると感じている。3・11の震災で被災した地方の子どもたちと交流を図る、被災地の子どもたちを夏休みなどに、吉田町に招待できないだろうか。

意見 : 中学校にエアコンが設置されたが、温度管理などを正確にしてほしい。

意見 : 昔はエアコンなどなかったが、みんながまんして勉強していた。温暖化のことを考えると電気を使うエアコン設置は必要ないと思う。

意見 : 小学校の授業参観に行ったが、子どもも先生も汗だくで勉強していた。昔とちがい温暖化で暑く、エアコンを使って環境の良い方が勉強の能率が上がると思うのでエアコンは設置してほしい。こどもが熱中症にかかったこともある。

### (3) 保育関連

問 **すみれ保育園の跡地**利用は決まっているか。

答 官地と民地が有り、複数の方が地主としているので、しっかりと検討しながら方向性を出すと思う。

問 **発達支援**等に学生ボランティアを活用することは考えていないか。

答 町はすみれ保育園の人員を検討している段階であるが、現状で学生ボランティアを活用することは考えていない。将来的にはそういうこともあるかもしれない。

問 **新しいすみれ保育園**の定員は。

答 従来の保育は、60人増の180人である。それに新たに併設する発達支援児30人の定員となっている。それに病後児2人の受入も可能である。また、わかば保育園内にある子育て支援センターの拠点を移動する。

問 **発達障害のある子**は、早期発見、早期対応が重要である。町はどう考えているか。

答 町としては、新しいすみれ保育園の発達支援や自彊小学校での通級指導教室で対応しようとしている。

問 **わかば保育園のホール**を、子育て支援センターとして利用されているが、保育園児が利用するところと考える。園庭が使えない雨の時やお遊戯の時など、2-3人のセンター利用者に占領されて、ホールの片隅しか利用できないのはおかしい。

答 そのような実情を把握していないので、有効に相互が利用できようにさっそく確認する。なお、先程の説明であったように、すみれ保育園が完成後には、子育て支援センターの拠点を移し、わかば保育園は、移動支援として利用する予定である。

問 **保育園の統廃合**はどうなったか。

答 あやめ保育園とさくら保育園が統合されて5園から4園になった。

問 27年度から**認定こども園**などが検討されているが、私立の幼稚園と公立保育園の差があると思うがどうなるのか？

答 子ども・子育て会議が制定されて、今後、検討していくことになる。皆さんも意見を言ってほし

い。

問 **保育園**には正規職員と臨時職員がおり、その臨時職員の割合が多いが仕事に差し支えはないか。また、正規職員と同じ業務をしているのか

答 正規職員と同じ業務をしており、仕事には差し支えはない。

意見 : 保育園で保護者会がイベントを行う際、昔は保育園でやっていたが、安全上のことと駐車場の問題があるということで保育園ではできず、中央小学校の体育館を借りてやっている。保育園で行うようにできないか。

意見 : 保育園の預け入れ時間が午後6時半までであるが、急な仕事でどうしても遅れてしまうときがある。30分でも延長してもらえないか。

#### (4) 交通安全・通学路関連

問 幹線道路が一部供用開始してから流れが変わり、**交差点事故**が多発している。前もって事故を防ぐ信号機設置など施設整備をできないか。

答 議会としても取り組んでいる課題である。牧之原署管内の予算が決まっており、限られた箇所しか設置できなく取り合いである。県の公安委員会の管轄であり、要請するしかないが、町と協力して今後も働きかけを行う。皆さんも自治会や学校を通じて、要請してほしい。

問 横断歩道など道に表示する**安全標識**について、道路工事を行った後が不完全である。工事を行ったところだけ、新しく表示し、工事されなかった箇所は従来のままの箇所を見かける。何とかならないか。

答 対応について町に確認する。

問 **榛南幹線の完成**はいつか。また、ヤンマー前の交差点の信号が出来ているのに作動していないがいつから動かすのか。

答 榛南幹線は26年3月に町内全線開通する予定で、その後4月頃作動と見込まれます。

問 国道150号セブンイレブンの北側の**中古車**を多く置いている所は危険である。何とかしてほしい。

答 国道150号は県の管轄であり、県に対する要望を準備中である。

問 **通学路のグリーンベルト舗装**を知らなかった。説明から考えるともっと増やすなどし、周知しては。

答 公安委員会との協議が必要で、まだ実施個所が少ないかもしれない。議会でも要望していく。また、利用している児童生徒への通学安全の意識付けになっているが、通行車へのアピールが弱いかもしれないので、意見を担当課に伝える。

問 通学路に暗い所がある。草が伸びていて見通しが悪い。**街灯の整備や草刈りの徹底**をして、安心して登下校ができるようにしていただきたい。

答 草刈りについては、町民課の環境整備班やシルバー人材センターに委託して行っているが、さらに徹底するよう町に言っていく。街灯についても町に言っていく。

意見 : 横断歩道が少ない。新しい道路の完成時につけてほしい。公安は危険性を計画時に確認してほしい。

意見 : 片岡西の小学生の通学路について、国道150号松本印刷近くの交差点で事故があつて以来、役場前の歩道橋を利用するように通学路を変更したが、かなり遠回りになり、歩道橋は低学年の子供には危険が多いと思う。歩道橋を渡った後の道が狭い。対策してほしい。

(5) 予算・決算関連

問 **財政健全化判断比率**の説明をもっと詳しくしてほしい。

答 町の財政状況を客観的に表し、財政の早期健全化や再生の必要性を判断するためのものとして、実質公債費比率、実質赤字比率、将来負担率などの指標で表している。実質公債費比率は簡単に言えば、町の収入に対する借金の返済額の比率で、24年度は15・1%で問題はなく健全である。

問 **実質公債費比率**の話で出た18%という数字は何か。

答 この数字を上回ると、借金をする場合、知事の許可が必要になるなどの制約を受けることになる。

問 **将来負担比率**の350%という数字の根拠は。

答 計算が難しく、根拠の一つとして職員が今いっぺんに退職したら、退職金の負担の問題とか。これは総務省の指示で行われている。

問 **法人町民税**はどのぐらいの金額になるか。

答 法人町民税は約6億1千万円。個人町民税は約14億9千万円となっている。

問 **決算収支**で余ると、交付税が減らないか。

答 交付税の算定は、国が定めた基準によって合理的に算出した基準財政需要額に対して、基準財政収入額が不足する額を、基礎として交付される。決算残高の有無による影響はない。

問 報告会では、決まったことに対し意見を聴くということになっているが、**予算など編成**する前に町民とか自治会等と話し合う機会はないのか。

答 予算に反映させるため、報告会で意見を聴いて予算審議で質問したり、一般質問をしたりしている。

意見 : 決算を家計簿に置き換えてもらってイメージができた。その中で、家でもローンが10%を越えると苦しくなる。町の公債費も現状くらいで進めてほしい。

(6) 榛原総合病院関連

問 **榛原総合病院の負担金**4億7千万円とあるが、このままいくのか。それとも減っていくのか。

答 建物等の起債(借金)が残っているため、借金残高が減れば減っていくことになる。

問 **榛原総合病院の負担金**の吉田町の割合は。

答 吉田町は、31.27%で4億7538万円負担している。過去3年間の町民の利用実績に基づき割合を算出している。なお御前崎市協力費の減額負担部分は、牧之原市が負担する

問 **榛原総合病院**に小児科がなく不便である。

答 週一交代で医師が来るが、常勤の医師はいない。病院組合の管理者も徳洲会も医師確保に努力をしている。

問 開業医が**榛原総合病院の医療機器**等を使用するなど、連携を持つことはできないのか。

答 管理者の牧之原市長もそのようなことを考えている。このような意見が出たことを伝える。

意見 : 榛原総合病院に小児科がなく、救急のときに藤枝までいかなければならず困ったことがある。なんのための榛原総合病院なのか。

(7) その他

問 **子宮頸がん**について健康づくり課の説明が良く理解できなかった。また、問題があったときの説明も不十分に感じた。

答 担当課からは、問題のあった後、国から接種を抑制するように指示されて予算が余り、肺炎球菌の予防接種にまわすと報告を受けている

問 **吉田町は企業誘致**を進めないのか。

答 県が行っている「ふじのくに防災・減災地域成長モデル『内陸のフロンティアを拓く取組』」に吉田町もエントリーして北区のインター付近に物流拠点、川尻地区に企業誘致を進めようとしている。

問 町は**国保税**が高いと聞いているがどうか。

答 田村町長になり、16年度に36%の引き上げで県下で一番高くなったが、21年度に税率を下げたので現在は県内で中位くらいに下がっているのではないかと当局に確認する。国保税を下げるには町民のみなさんが健康に注意して医者に掛からないようにすることが必要である。

問 **小山城の北側に町有地**があると思うが、どのような計画があるか。

答 小山城まつりなどイベント時に利用しているが、特に計画は聞いていない。南側に比べ北側の整備がなされていないとの指摘もあるので、確認する。

問 説明では、**自動交付機**によりサービス向上の話であったが、今日手続きを行ったら、今後は窓口でなく機械を利用するように、言われた。窓口を利用できなくなるのか。

答 銀行のATMとは違いそのようなことは、無いと思うが、担当課に対応マニュアルなど確認して不都合が無いように伝える。

問 **人材活用センター建設事業**は、3500万円と  
なっているが、そんなにかかるのか。

答 シルバー人材センターは会員数も増えてきて、現在のところも手狭になってきた。今年度は、設計委託料と用地の取得費の費用である。



北区自彊館

問 大幡川や湯日川など**河川の草刈り**に関して、

本年度は自治会に今まで以上に要望が上がってきている。是非進めてほしい。子ども達の安全確保の6ために通学路だけでもやってもらえないか。

答 議会も訴えているが、今まで以上に強く要望していく。

問 **人口が上昇傾向**にあると書かれていたと記憶している。東日本大震災を境に減少しているのではないか。

答 指摘の通り、24年12月頃からおおよそ400人程度減少している。主に65歳以下の生産年齢世代で単身者や外国人の方と聞いている。また、町内においても沿岸部から津波侵水域外の片岡区や北区へ人口移動が起きている。

問 **人口**が減れば、税収も減り、自主財源も減るが。

答 町も、大変危機感を持って事態を注視している。今年度中に命を守る津波避難タワー設置を終え、次に海岸線の防潮堤のかさ上げ、大井川堤防のかさ上げ、坂口谷川の水門設置などを、国や県に強く要望している。

問 吉田町は**原発**に対してどういう立場か。

答 町長は廃炉の考えで、議会は浜岡原発の廃炉に関する意見書を出している。

問 **片岡東防災会倉庫**が吉田高校のところにあり、図書館のところに置くことができないのか。

答 そのようにした経緯があると思うが、町に伝える。

問 **生活保護費**の支給について、審査が甘いのでは。働かずパチンコをしている人もいる。

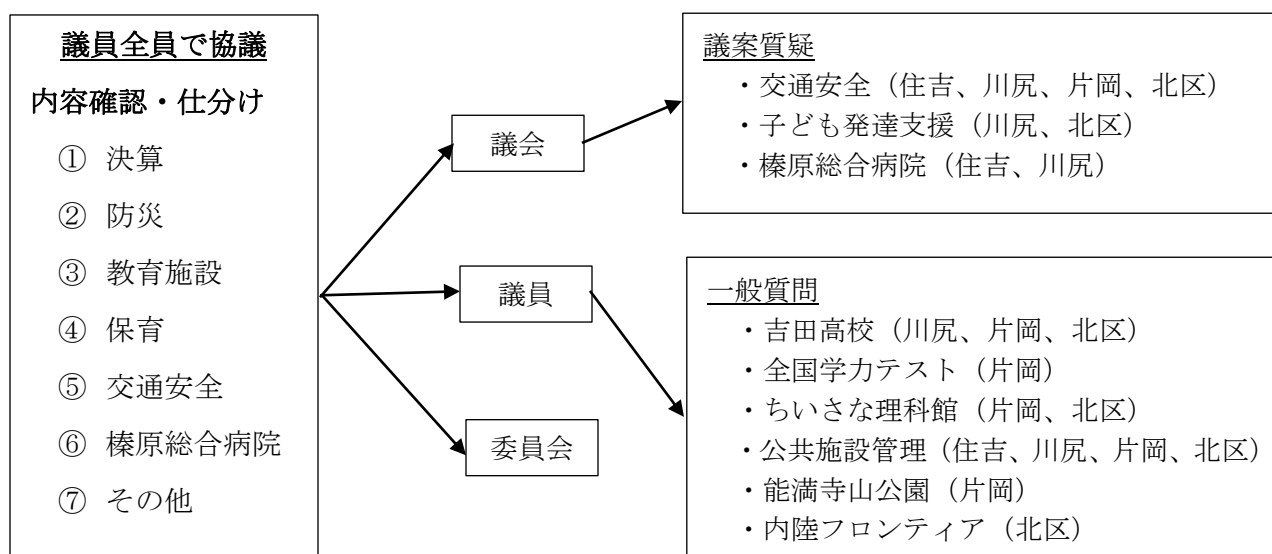
答 市の場合は福祉事務所があるので支給決定権があるが、町には福祉事務所がないので県に決定権がある。町は保護申請者の条件調査をしている。当然、職員は県の職員と一緒に訪問したり申請者と話をしている。生活保護は就労するまでのつなぎ資金である。職員も分からない場合があるので通報していただければ調査すると思う。

意見 : 町内にプールを作ってほしい。例えば、吉田公園に作るのはいかがでしょうか。

意見 : 街灯が少ないので道路が暗い。高校生など夜の帰宅時が心配なのでソーラーパネルを使った街灯の設置を望む。

## 5 町民意見の活用

議会では、町民の皆さんの議会報告会でのご意見を全員で議論し、仕分けした。そのご意見を生かすべく、12月定例会での議案審議や一般質問でご意見を町に伝え、対応を求めた。また、質問に関しては担当課から回答をもらった。今後、常任委員会でも調査案件のテーマとしても捉えていく予定である。



( ) 内は意見が出た地区を表す。

議会は、町民の皆さんのご意見を町政に生かすべく、活動していきますので、これからも議会報告会に参加いただき、多くのご意見をいただきたいと思っています。よろしくお願いします。